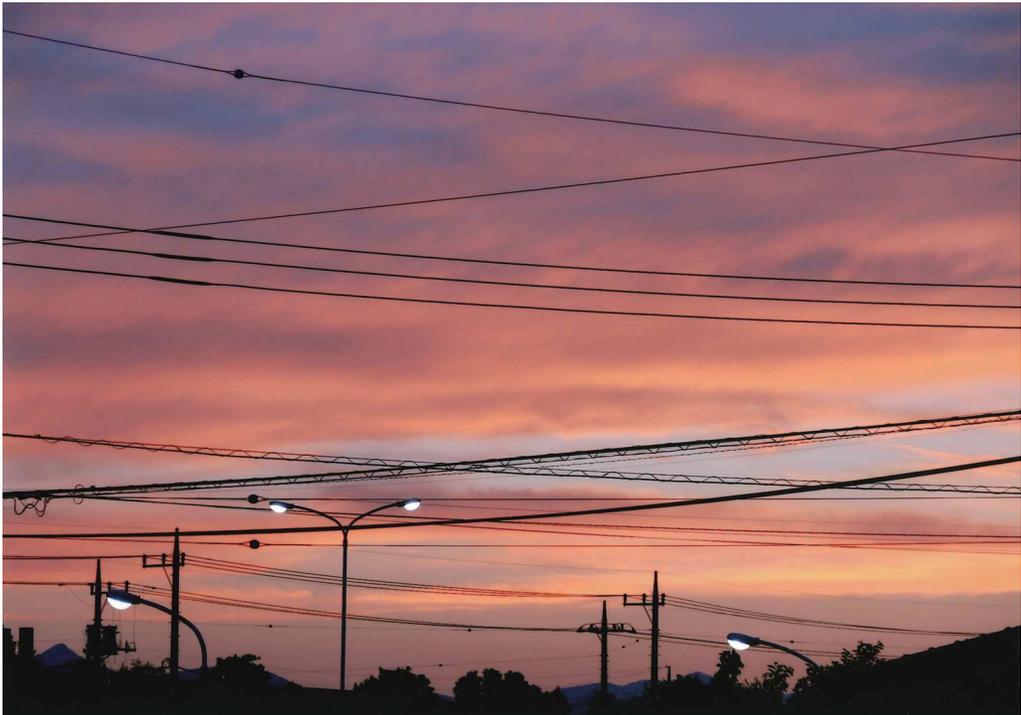


西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第540号 令和4年7月・8月



『羽村の夕焼け』 松原 貞一

目 次

	頁		頁
1) 保健所だより	西多摩保健所 … 2	7) 学術講演会予定	学術部 … 11
2) 専門医に学ぶ	葉山 譲 … 4	8) 理事会報告	広報部 … 12
3) 2022年度定時社員総会報告	土田大介 … 6	9) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 16
4) 西多摩地域糖尿病医療連携 検討会からのメッセージ	野本正嗣 … 7	10) お知らせ	事務局 … 22
5) 広報だより	古川朋靖 … 8	11) 表紙のことば	松原貞一 … 23
6) 連載企画	菊池 孝 … 10	12) あとがき	三ツ汐 洋 … 23

保健所だより

感染症だより 4月

1. 西多摩圏域感染症発生動向

2022年第12週～第15週(3/21-4/17)の間に保健所で受理された感染症について、管内(青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩)の医療機関より以下の報告がありました。

(1) 全数報告疾患 届出件数

〈二類感染症〉

- ・結核 8件 肺結核 1件、潜在性結核感染症 5件、疑似症 1件、皮膚結核 1件。年齢は30代 1件、40代 1件、70代 2件、80代 4件。推定感染地は国内 7件、不明 1件。

〈新型コロナウイルス等感染症〉

- ・新型コロナウイルス感染症 3849件(疑似症・取り下げ除く暫定値)

(2) 定点報告疾患 届出件数

定点種別	疾患名	第12週	第13週	第14週	第15週
		3/21～	3/28～	4/4～	4/11～
インフルエンザ	インフルエンザ(外来)				
小児科	RSウイルス感染症				
	咽頭結膜熱				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				
	感染性胃腸炎	16	18	20	24
	水痘				
	手足口病			2	1
	伝染性紅斑			1	
	突発性発しん				
	ヘルパンギーナ				
	流行性耳下腺炎			2	1
不明発疹症					
川崎病					
眼科	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎				
基幹病院	細菌性髄膜炎				
	無菌性髄膜炎				
	マイコプラズマ肺炎				
	クラミジア肺炎				
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
インフルエンザ入院					
	合計	16	18	25	26

2. 都内で注目されている定点把握対象疾患 15週(4/11～4/17)時点

- ・対象疾患全般で定点当たり報告数が例年並み以下になっています。

文責：西多摩保健所保健対策課

感染症だより 5月

1. 西多摩圏域感染症発生動向

2022年第16週～第19週(4/18-5/15)の間に保健所で受理された感染症について、管内(青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩)の医療機関より以下の報告がありました。

(1) 全数報告疾患 届出件数

〈二類感染症〉

- ・結核 6件 肺結核 2件、潜在性結核感染症 4件。年齢は30代 1件、40代 1件、70代 3件、80代 1件。

推定感染地は、国内 3件、国外 2件、不明 1件。

〈五類感染症〉

- ・カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1件 年齢は70代。推定感染地は国内、推定感染経路は不明。

〈新型インフルエンザ等感染症〉

- ・新型コロナウイルス感染症 2177件(疑似症・取り下げ除く暫定値)

(2) 定点報告疾患 届出件数

定点種別	疾患名	第16週	第17週	第18週	第19週
		4/18～	4/25～	5/2～	5/9～
インフルエンザ	インフルエンザ(外来)				
小児科	RSウイルス感染症				
	咽頭結膜熱				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	1	
	感染性胃腸炎	31	27	18	30
	水痘	1			
	手足口病				
	伝染性紅斑				
	突発性発しん	5	1		3
	ヘルパンギーナ				
	流行性耳下腺炎				1
	不明発疹症				
眼科	川崎病				
	急性出血性結膜炎				
基幹病院	流行性角結膜炎				
	細菌性髄膜炎				
	無菌性髄膜炎				
	マイコプラズマ肺炎				
	クラミジア肺炎				
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
インフルエンザ入院					
	合計	37	29	19	34

2. 都内で注目されている定点把握対象疾患 18週(5/2～5/8)時点

- ・対象疾患全般で定点当たり報告数が例年並み以下になっています。
- ・全体的に、前週に比べて定点当たり報告数は減少していますが、連休中の医療機関の休診が影響していると考えられます。

専門医に学ぶ 第155回

公立阿伎留医療センター 消化器内科 医長 葉山 譲

問題

【症例】 50 歳代 男性

【主訴】 特になし

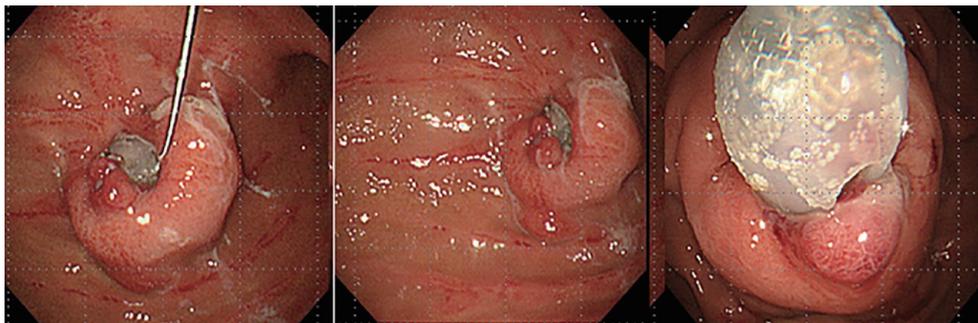
【家族歴、既往歴】 神経発達遅滞、誤嚥性肺炎

【現病歴】 神経発達遅滞で施設入所中。誤嚥性肺炎を繰り返し、経口摂取困難となったため約3年前に胃瘻造設を行、その後半年おきに胃瘻交換を行っていた。定期交換のため当院を受診し、交換の際に行った上部消化管内視鏡検査にてバンパーが胃壁内に埋没していた(図1内視鏡画像、図2腹部CTスキャン画像)。胃壁と強く癒着しており、経皮的な抜去は困難だったため、バンパー埋没症候群 (Buried Bumper Syndrome: BBS) の診断で加療目的に入院した。来院前日まで問題なく栄養剤の投与を行っていた。

【現症】 体温 36.8°C、血圧 121/65 mmHg、脈拍 85 bpm

腹部：平坦、軟。胃瘻カテーテルは上下に動かず、回転もしない。胃瘻カテーテル周囲の皮膚に発赤や腫脹なし。

【図1 処置前内視鏡画像】



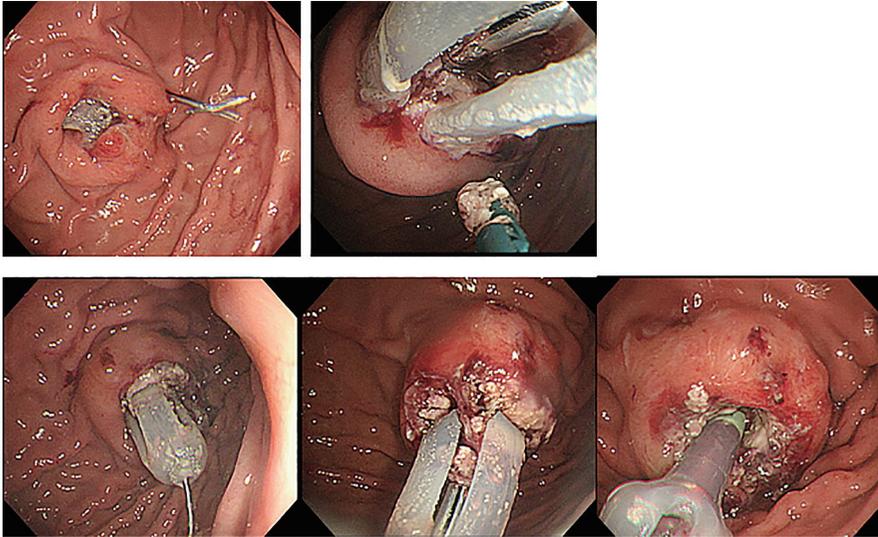
【図2 処置前腹部単純CT画像】



【入院後経過】

入院後再度内視鏡を行い、胃瘻周囲に再度腹壁固定を行い ESD 治療で用いる処置具を使用し、胃瘻周囲の粘膜を切除し胃瘻バンパーの交換を行った。(図3処置時内視鏡画像)

【図3 処置時内視鏡画像】



(問題1)

バンパー埋没症候群 (Buried Bumper Syndrome: BBS) を起こす主な原因にはどのようなことが考えられるか？

(問題2)

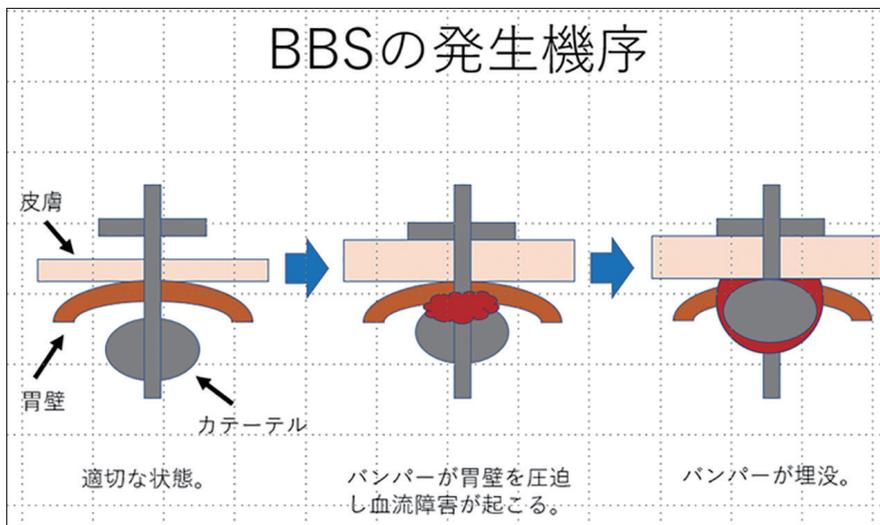
バンパー埋没症候群 (Buried Bumper Syndrome: BBS) の主な症状はどのようなものが考えられるか？

【解説】

問題1

BBSの主な原因

- ① ガーゼなどによる過度の固定。
- ② 短いシャフト長のカテーテル留置。
- ③ 肥満や腹水による腹壁厚の増加による相対的なシャフト長の短縮化。
- ④ 体位や姿勢による慢性的なカテーテルの牽引。



問題 2

- ① 栄養剤の滴下不良・漏れ・逆流
- ② カテーテルの可動性不良
- ③ 皮膚の発赤・腫脹・皮下膿瘍
- ④ 腹痛
- ⑤ 発熱

BBS の対策

- ① 内部ストッパーと胃粘膜との過度の接触圧迫を防止する。
- ② 適切な長さのカテーテルを選択する（体表と外部ストッパーの距離は 1cm 以上とる）。

BBS の治療

多くは経皮的に抜去可能である。内部ストッパーと胃粘膜の組織が癒着している場合、スネア、針状メス、IT ナイフ等を使用し粘膜切除を行う。粘膜切除が困難な場合や、バンパーが胃壁外へ埋没した際は、外科的手術、腹腔鏡を用いた処置が必要となることもある

バンパーが一部のみ埋没している場合、栄養剤の滴下不良などの症状を生じることは少ない。日常的にバンパーが上下に動くこと、回転することを確認し、BBS の予防、早期発見をすることが大切と考える。

2022年度 西多摩医師会定時社員総会報告

総務部

令和 4 年 6 月 21 日 (火) 午後 7 時 30 分より西多摩医師会館で 2022 年度定時社員総会が開催されました。玉木一弘会長による開会挨拶の後、仮議長に三ツ汐洋先生が指名され、三ツ汐仮議長により議長・副議長・議事録署名人の選任が行われました。議長には横田卓史先生、副議長には鹿兒島武志先生、議事録署名人には井上大輔先生、下村智先生が選任され、横田議長の総会開会宣言により議事に入りました。

(資格審査：議場出席者 28 名、委任状提出者 88 名、合計 116 名であり、会員総数 203 名の過半数 102 名以上のため総会は成立)

報告事項

2021 年度事業報告、2022 年度事業計画 土田総務部長より説明

2022 年度収支予算 鈴木経理部長より説明

審議事項

第 1 号議案：2021 年度貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録につき承認を求める件

承認

第 2 号議案：理事候補者を選任する件 承認

第 3 号議案：監事候補者を選任する件 承認

第 4 号議案：医道審議会委員候補者を選任する件 承認

横田議長の閉会宣言により定時社員総会は滞りなく終了し、引き続き 2022 年度西多摩医師会互助会総会、2022 年西多摩医師政治連盟・東京都医師政治連盟西多摩支部総会が玉木一弘会長を議長として行われ、案件は全て承認されました。江本副会長による閉会挨拶で総会は無事終了いたしました。本総会の終了をもって、10 年以上に渡り長らく理事会にご尽力いただいた理事の玉木一弘先生、江本浩先生、宮城真理先生、監事の中野和広先生がご退任となりました。改め

てここに深く感謝の意を表します。

総会終了後の臨時理事会により、会長に進藤幸雄先生、副会長に進藤晃先生、古川朋靖先生が選定され、理事会終了後に進藤幸雄新会長による挨拶が行われました。なお、次回の西多摩医師会報に新役員の挨拶文を掲載する予定です。

(文責：土田大介)

「西多摩地域糖尿病医療連携検討会」からのメッセージ

西多摩地域糖尿病医療連携検討会 座長 野本 正嗣

会員の皆様には平素より当検討会の活動にご理解・ご協力を賜ります事を厚く御礼申し上げます。さて、当検討会の活動の一つとして毎年開催して参りました「西多摩医師会館における糖尿病教室」ですが、今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため集団での講演会は行わず、9回全てを書面開催する事となりました。

下記に掲載するスケジュールにより、7月から毎月各科の専門医と管理栄養士が作成した講演用資料を受講希望者に送付し、返信用封筒にて質問も受け付ける、というスタイルで行います。貴院の糖尿病患者さんまたは糖尿病予備群の方に「糖尿病教室」の情報をお伝え頂き、受講をご希望の方がいらっしゃいましたら、西多摩医師会までお申し込み頂きますようお願い申し上げます。(費用は無料です)

また、例年通り毎月第4木曜日には「管理栄養士による個別指導」も行っておりますので、個別指導が必要な患者さんがいらっしゃいましたら、是非ご紹介下さい。完全予約制となりますので、患者さん自身で西多摩医師会までお申し込み頂きますようお願い申し上げます。

2022年度 書面開催による西多摩医師会「糖尿病教室」予定表

月	講義 1	講義 2	担 講義1 当 講義2	備 考
7月	糖尿病とは(医)	食事療法(栄)	高村先生 内田先生	
8月	糖尿病の薬について(薬)	食事療法(栄)	大戸先生 内田先生	
9月	糖尿病の運動療法について(ト)	食事療法(栄)	小池先生 内田先生	
10月	糖尿病と慢性腎臓病について(医)	食事療法(栄)	松川先生 内田先生	
11月	糖尿病と歯や歯周病の関係について(歯)	食事療法(栄)	大野先生 内田先生	
12月	糖尿病と足ケア(神経障害)について(看)	食事療法(栄)	杉田先生 内田先生	
1月	糖尿病と眼の関係について(医)	食事療法(栄)	鹿児島先生 内田先生	
2月	糖尿病と心臓の関係について(医)	食事療法(栄)	栗原先生 内田先生	
3月	糖尿病と上手につきあうために(看)	食事療法(栄)	岡野先生 内田先生	
(医)：医師、(歯)：歯科医師、(薬)：薬剤師、(看)：看護師、(栄)：管理栄養士、(ト)：トレーナー				
1)講師の都合により、講義内容・順番の変更などが生じる場合があります。ご了承ください。				
2)毎回アンケート用紙を同封いたします。ご質問・ご意見がございましたらご記入の上、同封の返信用封筒にて西多摩医師会までご返送下さい。				
3)ご住所の変更、「糖尿病教室」についてのご質問等がございましたら、西多摩医師会までご連絡下さい。(TEL：0428-23-2171) (受付時間：平日10時～16時)				

広報だより



終わり方。終わらせ方。 そして、終わりから始まりへ。

永仁医院 古川 朋靖

現在の日本を含めた世界には、この1、2年で終わるであろう事、終わってほしい事が多々あります。新型コロナウイルス感染症、ロシアのウクライナ侵攻、円安などなど。始まりがあれば、終わりがあるわけで、どう終わっていくかということがとても重要になってくる事も多いと思います。

今回は、身近な新型コロナウイルス感染症について考えたいと思います。正直なところ早く終わってほしいと誰もが思っていることです。現在は、昨年の秋くらいの状況と同じで第六波が収束して来ている状況に見えます。昨年も、もうこれで終わりかと思っていたところに、年始からオミクロン株による第六波が始まりました。今後、第七波がやってくるのか、それともこのまま収束をして一般的な感冒やインフルエンザの様な立ち位置になるのか、時間を見ていくしかないのかと思います。過去の新興感染症のことを考えると、もうしばらくは我慢を強いられる様にも思えます。東京都も検査体制の拡充のための方策を進めていますので、今しばらくは第七波に向けての準備を進めていくべきなのでしょう。

付随した問題として、マスクをいつまでつけていたらいいのか、ワクチン接種の今後は、治療薬の開発はどうか、様々な事柄があります。社会経済に対する問題も顕著になって来ており、この点に関しては、我々医療従事者としても他人事ではない部分です。その他にも多くの問題点があります。

日本人は同調圧力が強いので、段階的にマスクを外していくのは難しいのかもしれませんが、もうつけなくてもいいよと言われても、すぐには外せないのではないかと思います。でも、忘れやすい国民性でもあるので、何かのきっかけでみんながつけなくなると、一気にコロナの事など忘れて、以前の状態に戻るのでしょう。新型コロナウイルスワクチン接種に関しても、昨年の春に開始された頃は、みんな大きな期待を持っていて予約に関しても殺気だった雰囲気でした。現在は、集団接種会場でも予約の空きが目立つ日もあります。どこまでワクチン接種が有効なのかを十分に検証して、国が適切な方向性を示さないと終わるに終われない状況になってしまいかねません。治療薬に関しても治験や使用が始まってはいますが、決定打とはなっていません。この部分が確立されないと、なんとなくコロナが終わることがあっても、『コロナを終わらせた』『今後こうしよう』など確信を持ったことは言えません。さらに難しい問題として、社会経済との両立があります。中国のようにゼロコロナ政策をすれば、一切社会経済のことは考えなくて良いのかもしれませんが、日本を含めた欧米諸国では、ゼロコロナ政策のような方策はとりようもありません。飲食、観光、販売などの不振、またサプライチェーンの停滞など、すべての面で影響は出

ています。通常通りに動かすことによってコロナのリスクも上がりますが、現状では、動かしていかなければ生活が成り立たないのも事実です。徐々に訪日観光客の入国を増やしたり、国内旅行に対する助成を行うことは、重要なことでしょう。医療界においても患者さんの受診控があり、コロナ以前と比べてかなり受診者数が減っています。受診控のために、コロナ以外の病状を悪化させてしまう例も見受けられます。当院でも、最近コロナが落ち着いて来たから受診をしたという方が増えてきました。そういった方の中には、もう少し早く来てくれていれば良かったのと思う方もおりました。どの医療機関でも自院でクラスターを出さないように、最善の感染対策をとっていると思いますので、とても残念なことです。一般的な不特定多数の集まる場所に行くよりも安全と思うのですが、そうは考えてくれない様です。その結果、医療機関は財政的にも厳しい状態に置かれてしまいます。ここにも社会経済の問題が持ち上がります。適切な終わり方と新しい始まりを示さないと、社会経済は、ジリ貧の連鎖の中で右往左往するしかないのかもしれないかもしれません。また、子供達にとっても懸念することがあります。特に小学校低学年は、成長や学校環境の中で社会性を身につけていかなければいけない時期です。しかし、新型コロナウイルスのために学校行事が中止になったり、友達との関係性が希薄になったり、上下の学年での交流がなくなったり、マスクで友達の顔を覚えられなかったり、通常当たり前に経験できることが、一切できなくなってしまいました。子供達へのケアは、終わり方、終わらせ方の如何にかかわらず、国全体として方向性を持って対応していくべきだと感じます。

新型コロナウイルスや付随するいろいろな問題について、終わり方や終わらせ方を夢想して来ましたが、すべて現在のオミクロン株で推移した場合を想定しています。しかしながら、ウイルスの変異が想定を超えて強毒化してしまうと、これら夢想は、全く意味を持たないものになってしまいます。振り出しに戻る状態になるでしょう。明けない夜は無いと言われます。今は、トンネルの出口を伺っている状態に思えます。これからは正しく恐れて、適切な終わり方や終わらせ方を探していけないといけな段階に来ているのだと思います。終わった後の世界は、これまでの価値観や世界観とは違ったものになっていく可能性が大いにあります。抽象的な表現になってしまいますが、変えるべきは変える、変えてはいけないものは決して変えない。社会全体が、確固たる基準や価値観を持って柔軟に対応をしていくべき必要があると思います。

今から5年後、10年後に「あの時は大変だったよね」と言える日は必ずくるのではないのでしょうか。その時のためにも、適切な終わり方を考えるべき時に来ているのだと思いますし、そうしないと、いくら頑張っても、今の時代を「黒歴史」として残してしまいかねません。「あの時は大変だったよね。でも、学ぶべきこともいっぱいあって、無駄ではなかったよね」と言えるように、自分自身の出来る事は小さくても、今後の為にも、今は踏ん張っていきたいと思っています。

Mac と円安と価格

きくち耳鼻咽喉科クリニック 菊池 孝

今年も6月7日、アップルがWWDCを開催しました。WWDC(Worldwide Developers Conference)とは直訳すると「世界開発者会議」となります。内容はアップルが提供する端末(Mac、iPad、iPhone、Apple TV、Apple Watchなど)を対象とした製品(ハードウェア、ソフトウェア)の開発を行う開発者に向けたイベントになります。

開催地はアップルの本社であるApple Parkです。米国カリフォルニア州クパチーノ市に位置します。上空から見るとドーナツ型をした4階建ての巨大な建物です。今回は久々の有人イベントで、Apple Park内に初めて招待客は入ることができました。またオープニングに行われる基調講演は全世界に配信され、ネットでリアルタイムに視聴ができました。

その基調講演で、アップルは新型の「M2」プロセッサを搭載した新しいMacBook Airを発表しました。性能向上や新しい外観も話題でしたが、価格上昇も話題になりました。新型の標準モデル(8コアCPU、8コアGPU、8GBユニファイドメモリ、256GB SSDストレージ)の価格は1199ドルになりました。「M1」搭載の前モデルでの標準モデルは999ドルだったので、本国で新型は200ドルの値上げになりました。最近まで、アップルの日本での為替レートは1ドル104円～105円に設定されていました。従来の感覚だと、1199ドルの製品だと12万5千円くらいになる予想でした。ところが今回の国内価格は税込み16万4800円になりました。税抜きでは14万9818円。米国で1199ドルの価格が国内では14万9818円。今回の為替レートは1ドル約125円に設定されている計算になります。最近の円安を反映した価格になりました。

この新型MacBook Airの発表にあわせて、その他のMacの価格も今回の為替レートに合わせた価格になりました。円安の影響による一斉値上げです。MacBook Air(M1, 2020)/M1/8Core CPU/7Core GPU/8GBメモリ/256GB SSDを例にすると、115,280円が134,800円に値上げされています。この価格改定が分かったのは基調講演が終わった後、日本時間では6月7日の早朝のことでした。この時点では家電量販店のネット販売に旧価格の在庫が残っていました。私はまだ「M1」Macを持っていなかったため、あわててヨドバシ.comで在庫のあったカスタムモデルのMac mini(M1, 2020)/M1/8Core CPU/8Core GPU/16GBメモリ/1TB SSDを購入しました。税込み15万7680円でした。価格改定後は、税込み17万6800円に値上がりしました。価格改定前に購入できたので約2万円の値上がり分をキーボード、マウスの購入に充てることができました。

今回、アップルの価格改定はMacだけに適用されました。原稿執筆時での為替レートは1ドル136円になっています。今後更に円安が進むとMacだけではなく、iPhone、iPad等のアップル製品全てに価格改定が行われると予想されます。その場合、アップルの為替レートは今回の1ドル約125円よりも上がると予想され、この秋に発売予定のiPhone 14シリーズの価格は恐ろしく高くなると考えられます。

今後、アップルだけでなく、円安が進むと外国からの輸入製品は軒並み価格が上昇すると考えられます。既に影響が出てきていると思います。また新型コロナによる上海ロックダウン等の影響も大きく、製品入手の目処がたたない商品も出てきています。昨秋に発売された MacBook Pro は現在約2ヶ月待ちです。医療関係ではマスク・手袋の様に現在では注射針の入手が難しくなっています。

必要のないものを無理に購入する必要はないと思いますが、今後必要になりそうな物や購入を迷っている物があれば、購入できるうちに購入すべきと考えます。購入できる予算があっても、購入したい物が手に入らない時代が訪れようとしている気がします。

◇学術講演会予定

令和 4. 6. 21

開催日	開始～終了 時間	会 場	単 位 数	CC	集会名称・演題	講師（役職・氏名）
7.6 (水)	19:00 ～ 20:20	【Web 講演】			学術講演会 【講演 1】 「天気と頭痛」 【講演 2】 「偏頭痛医療の現状と、抗 CGRP 抗体薬 “アジヨビ” への期待」	公立福生病院 脳神経外科診療部 部長 福永 篤志 先生 富士通クリニック 内科 頭痛外来 五十嵐 久佳 先生
7.14 (木)	19:00 ～ 20:15	【Web 配信】 (ZOOM) 又は、公立 福生病院	1	12	学術講演会 「DiaMond Seminar in 西多摩」 【Opening remarks】 演 題「西多摩地域糖尿病医療連携 検討会の今年度の取り組み」 【講演 1】 演 題「連携の和を広げる、チーム の和を高める、糖尿病診療をめ ざして (仮)」 【パネルディスカッション】 演 題「かかりつけ医と専門医の役 割分担について～早期発見・治 療と継続したフォロー～」 【Closing remarks】 演 題「未定」	野本医院 院長 野本 正嗣 先生 (西多摩地域糖尿病医療連携検討会 座長) 東京都立多摩総合医療センター 内分泌代謝内科 部長 辻野 元祥先生 パネリスト： 東京都立多摩総合医療センター 内分泌代謝内科 部長 辻野 元祥先生 野本医院 院長 野本 正嗣 先生 高木病院 院長 南 明宏 先生 青梅市立総合病院 内分泌糖尿病内科 科長/ 医長 加計 剛 先生 青梅市立総合病院 内分泌糖尿病内科 科長/ 医長 加計 剛 先生
7.21 (木)	19:00 ～ 20:00	【Web 講演】	1	76	学術講演会 「高血圧診療WEBセミナー」 ～良好な血圧コントロールを目指して～ 演 題「糖尿病合併高血圧患者さん の薬物治療について」	ほたるのセントラル内科 院長 内田 大学 先生
8.4 (木)	18:30 ～ 19:10	【Web 講演】			学術講演会 演 題「GLP-1 受容体作動薬、その 新たなステージへ」	東大和病院 副院長 糖尿病センター長 犬飼 浩一 先生
8/8 (月)	19:00 ～ 20:20	【Web 講演】	1	69	学術講演会 「不眠症診療セミナー in 西多摩」 【講演 1】 『在宅患者の不眠の実際 (仮)』 【特別講演】 『高齢者の不眠症薬物治療 (仮)』	大久野病院 訪問看護ステーション 齋藤 瑞穂 看護師 東京医科大学 高齢総合医学分野 センター長 清水 聡一郎 先生
8.23 (火)	19:30 ～ 21:00	【Web 配信】 (Teams) 又は、羽村 市ゆとりぎ	1.5	45 82	学術講演会 【一般講演】 「高齢者における高血圧治療 (仮)」 【特別講演】 「高血圧治療の新たな展開 (仮)」	(医社) 悦伝会目白第二病院 副院長 水野 英彰 先生 しながわ内科・循環器クリニック 院長 品川 弥人 先生

理事会報告

★ Information

4月定例理事会**令和4年4月26日(火)****西多摩医師会館**

(出席者：玉木・江本・進藤(幸)・土田・宮城・古川・進藤(晃)・田中・井上・下村・鈴木・中野・野本)

【1】報告事項**(1) 都医地区医師会長連絡協議会報告**

資料に沿い、4/15に開催された標記協議会の伝達事項等報告

(2) 各部報告

公衆衛生部：資料に沿い、4/22日に開催された地区医師会感染症担当理事連絡会の内容等について

(3) 地区会報告(各地区理事)：

青梅市

福生市 4/15、2市1町PCRセンターに係る会議開催

羽村市

あきる野市

瑞穂町

日の出町

奥多摩町

(4) その他報告：

○フレイルサポート医に関する担当理事連絡会について

資料により、4/21に開催された標記連絡会の内容等について

【2】報告承認事項**(1) 入退会会員、会員異動について**

資料により、正会員1名の退会が紹介・報告された

【3】協議事項**(1) 賃金規定の一部改正(案)について**

資料により、標記改正案の内容等が説明され、可決承認された

— 可決承認 —

(2) 外来感染対策向上加算算定に係る取り組みについて

資料により、標記加算算定に係る条件等が説明され、必要とされるカンファレンス・研修・訓練について保健所・三公立病院・医師会の連携・協調による実施を関係機関に提案することにつき承認が求められ可決承認された

— 可決承認 —

【4】その他

特になし

5月定例理事会

令和4年5月10日(火)

西多摩医師会館

(出席者：玉木・江本・進藤(幸)・土田・宮城・古川・進藤(晃)・田中・井上・下村・鈴木・中野・野本)

【1】報告事項**(1) 各部報告**

総務部：「2021年度事業報告書(案)」が配布され、次回理事会までに内容等の確認・チェックを各理事に依頼

(2) 地区会報告(各地区理事)：

青梅市 4/28 臨時理事会開催

福生市 6/3 定時社員総会開催予定

羽村市 5/17 理事会予定

〈情報提供〉羽村市内医療機関に反コロナワクチンのチラシが届いている件

あきる野市 5/13 理事会予定

瑞穂町 5/17 定例会予定

日の出町

奥多摩町 先月町内施設にてクラスター発生

(3) その他報告：

特になし

【2】報告承認事項**(1) 入退会会員、会員異動について**

資料により、正会員1名、準会員2名の入会申請が説明・紹介され承認された。また、正会員1名・準会員2名の退会及び異動届4件が紹介・報告された

— 承認 —

(2) 令和4年度福生市中学校医(眼科)の選任について(変更依頼)

資料により、福生市立第三中学校の眼科医について、福生地区の了承に基づく津村先生から黒川先生への変更依頼が説明紹介され承認された

— 承認 —

【3】協議事項

特になし

【4】その他

特になし

5月定例理事会

令和4年5月24日(火)

西多摩医師会館

(出席者：玉木・江本・進藤(幸)・土田・宮城・古川・進藤(晃)・田中・井上・下村・鈴木・中野・野本)

【1】報告事項**(1) 都医地区医師会長連絡協議会報告**

資料に沿い、5/20に開催された標記協議会の伝達事項等報告

(2) 各部報告

公衆衛生部：資料に沿い、5/20日に開催された地区医師会感染症担当理事連絡会の内容等について

(3) 地区会報告(各地区理事)：

青梅市 5/23 理事会開催

福生市 5/16、2市1町PCRセンターに関する会議開催

5/17 理事会開催

6/3 社員総会開催予定

羽村市 6/7 社員総会開催予定

あきる野市 5/13 理事会開催

5/16 社員総会開催

瑞穂町

日の出町 7月より4回目のワクチン接種開始予定

奥多摩町

(4) その他報告：

○ 2021 事業年度に係る監事監査報告

5/20 実施した 2021 事業年度の監事監査について監査報告書(写)により監査概要・結果等を報告

【2】報告承認事項**(1) 入退会会員、会員異動について**

資料により、正会員1名、準会員7名の入会申請が説明・紹介され承認された。また、正会員1名・準会員11名の退会及び異動届3件が紹介・報告された

— 承認 —

(2) 2021年度「西多摩医師会決算報告書」について

標記報告書の資産・負債および収支の内容・状況等が説明・報告され承認された

— 承認 —

(3) 2021年度「公益目的支出計画実施報告書」(計数のみ)について

資料により2021年度決算に基づく標記報告書の計数等につき説明・報告され承認された

— 承認 —

(4) 2021年度「西多摩医師会互助会会計収支計算書」について

資料により標記計算書の内容・計数等が説明・報告され承認された

— 承認 —

(5) 2022年度定時社員総会開催案内等送付資料・発送について

資料により 2022 年度定時社員総会に係る会員への開催案内・送付資料等について説明され、発信が承認された

— 承認 —

【3】協議事項**(1) 「2021年度事業報告書」について**

前回標記報告書（案）に対する意見等を反映した資料（案）が説明・紹介され可決承認された

— 可決承認 —

(2) 理事・監事・医道審議会委員候補者の選出について

役員改選に伴う告示により理事 12 名・監事 2 名・医道審議会委員 7 名の候補者届けが説明され選出について協議。いずれも規定定数内の候補者数であり、資料の候補者を選出することが決議された

— 可決承認 —

(3) 地域包括ケアシステム連携事業 医療・介護関係者研修の講師推薦について（依頼）

資料により、標記依頼について紹介・説明。本人承諾のもと進藤幸雄先生の推薦が提案され可決承認された

— 可決承認 —

(4) 総代人選出依頼の件（西医協）

資料により、標記依頼について紹介・説明。6 名の総代人は今までの玉木先生・土田先生・宮城先生・田中先生に加え野本正嗣先生・鈴木寿和先生の 6 人を推薦することが決議された

— 可決承認 —

【4】その他

特になし

6月定例理事会**令和4年6月14日（火）****西多摩医師会館**

（出席者：玉木・江本・進藤（幸）・土田・宮城・古川・進藤（晃）・田中・井上・下村・鈴木・中野・野本）

【1】報告事項**(1) 各部報告**

総務部：6/21 定時総会の進行・流れ等の概略について

公衆衛生部（産業医担当）：9/4 あきる野ルピアにて産業医研修会の開催が決定した件について

(2) 地区会報告（各地区理事）：

青梅市

福生市 6/3 定時社員総会開催

6/13、2市1町PCRセンターに係る会議開催

羽村市 6/7 定時社員総会開催、道佛先生から松田先生に会長交代

あきる野市
瑞穂町
日の出町
奥多摩町

(3) その他報告

- 都医文書管理システム (DocuShare) の運用について
資料により、標記都医からの通知内容について説明・報告

【2】報告承認事項

(1) 入退会会員、会員異動について

資料により、正会員 3 名、準会員 1 名の入会申請が説明・紹介され承認された。また、正会員 1 名・準会員 1 名の退会及び異動届 5 件が紹介・報告された

— 承認 —

【3】協議事項

(1) 梅雨期及び台風期における防災態勢の強化について

資料により、標記に係る通知・要請内容等について説明・紹介

(2) 医師会 B C P 改訂版について

医師会 B C P 改訂版 (たたき台) が説明・紹介され、医師会 B C P 第 2 版としての制定について承認が求められ可決承認された

— 可決承認 —

【4】その他

特になし

会員通知

- 会報 5-6 月号
- 宿日直表 (青梅・福生・阿伎留)
- 学術講演会 (6/2、6/16、6/29、6/30、6/30)
- にしたまネット講習会 (6/24)
- 産業医研修会 (帝京大学医師会 7/16、7/17、7/18)
- ” (順天堂大学医師会 10/1)
- ” (西多摩医師会 9/4)
- 青梅市立総合病院より「満床のお知らせ」
- ” 「緩和ケア勉強会のお知らせ」
- ” 「入院が想定される患者のご紹介お受け入れ再開のお知らせ」
- ” 「第 14 回地域医療連携懇話会」
- 2022 年度西多摩医師会社員総会の開催について
- 令和 4 年度第 1 期分西多摩医師会諸会費

請求書

- 公費負担医療の手引き
- とめよフレイル
- 西多摩医師会館「個別栄養指導のご案内」
- 国際モダンホスピタルショウ 2022 開催案内
- 東海大学医学部附属八王子病院診療案内
- 第 1 回医療従事者肝疾患研修会案内
- 2022 年度「糖尿病教室」(書面開催)のご案内
- 学校医会報
- 都立小児総合医療センター「医療連携だより」
- 会員名簿作成についてのお願い
- 西多摩医師会役員改選「告示」
- 「がん治療連携指導料」の施設基準届出に係る連携保険医療機関の新規追加及び届出内容の変更等について (令和 4 年 7 月 1 日算定)

- 令和4年度認知症サポート医養成研修の実施に係る受講者の推薦について（依頼）
- 情報提供「処方箋の取り扱いでの注意喚起」
- 酸素、医療提供ステーション（立川）への出務のお願い
- 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について（オンライン服薬指導関係）」及びオンライン服薬指導における処方箋の取扱いについて
- 「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いに関するQ&A」の改定について（その2）
- 「地区医師会社会保険担当理事連絡会の補足資料について」の訂正等について
- 「保険医療機関等電子申請・届出等システム」の運用について（第2報）
- 【日本医師会におけるウクライナ支援策】日本医師会医賠償保険付帯医療通訳サービスの拡充について
- アレルギー疾患を有する者又はその家族に対する治療と仕事の両立支援について（依頼）
- 医療法人による事業報告書等の届出、都道府県知事による事業報告書等の閲覧事務についての「医療法施行規則の一部を改正する省令」の公布等について
- 令和4年度診療報酬改定を踏まえた医療的ケア児に関わる主治医と学校医等との連携等について
- 令和4年度難病セミナー（実務者基礎コース）の実施について
- V-SYS 操作マニュアル第6.1版について
- ゴールデンウィークにおける診療・検査医療機関の休日加算の取り扱いについて
- 「オンライン診療入門～導入の手引き～」の公表について
- 医療事故情報収集等事業「医療安全情報」の提供について
- 医療用医薬品の供給状況に関する用語の定義と今後の情報提供について
- 欧州及び米国における小児の原因不明の重篤な急性肝炎の発生について
- 虐待による児童の死亡事案の情報共有について
- HPV ワクチン接種後に生じた症状に関する診療マニュアルの公開について
- ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種に関する相談支援・医療体制強化のための地域ブロック拠点病院整備事業の実施機関の決定について
- ポリオ生ワクチン2次感染対策事業実施細則の一部改正について
- 治療と仕事の両立支援に関する診療報酬の改定について
- 全国健康保険協会が実施する生活習慣病にかかる重症化予防事業の推進について
- 令和4年度「日本医師会生涯教育講座」第1期（5月）の開催について
- 令和4年度インフルエンザHA ワクチン製造株の決定について
- 令和4年度東京都オンライン医療相談・診療等環境整備補助事業の実施について
- 令和4年度版 死亡診断書（死体検案書）記入マニュアルについて
- 「新型コロナワクチン 予診票の確認のポイント Ver 6.0」について
- 「予防接種ガイドライン 2022年度版」「予防接種と子どもの健康 2022年度版」の送付について
- 「令和4年度歯と口の健康週間」について
- リフィル処方に関する誤った報道について
- 欧州及び米国における小児の原因不明の重篤な急性肝炎の発生について
- 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その70）
- 新型コロナウイルス感染症の感染急拡大に伴う対応における特例疑似症制度の廃止について（再周知）
- 東京都新型コロナウイルスワクチン接種促進支援事業の継続について
- 令和4年度全国安全週間の実施に伴う協力依頼について
- 「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き 別冊 罹患後症状のマネジメント（第1版）」の周知について
- ワクチン接種と感染予防対策の呼びかけへの御協力依頼について
- 来日したウクライナ避難民の患者受入れ環境整備支援等及び国民健康保険の適用について

- V-SYS 操作マニュアル第 6.2 版について
- 重症化リスクの高い者に対する電話等による診療（新型コロナウイルス感染症に係る臨時的取扱い）に関する情報の整理
- 宿泊療養又は自宅療養を証明する書類について
- 新型コロナウイルス感染症に関する東京都検査体制整備計画の改定について
- 「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第 7.2 版」の周知について
- 高齢社会における運転技能および運転環境検討委員会「実地医家における高齢免許保有者への指導ガイド作成のためのアンケート調査」の実施について（依頼）
- 新型コロナワクチン追加接種（4 回目接種）における医療従事者に対する考え方
- 電子情報処理組織の使用による費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項及び方式並びに光ディスク等を用いた費用の請求に関して厚生労働大臣が定める事項、方式及び規格について
- 東京都医師会ホームページ掲載の新着情報について
- 東京都肝疾患診療連携拠点病院が実施する研修の御案内について
- 「重症化リスクの高い者に対する電話等による診療（新型コロナウイルス感染症に係る臨時的取扱い）に関する情報の整理」の訂正について
- オミクロン株の特性を踏まえた保健・医療提供体制の対策徹底を踏まえた取組状況及び更なる体制強化について
- サル痘に関する情報提供及び協力依頼について
- 厚労省 HPV ワクチン拠点病院整備事業医療者講演会周知ご協力をお願いについて
- 風しんの第 5 期の定期接種に係る委託料の改定について
- 令和 4 年度「働き方改革推進支援助成金」について（情報提供）
- 令和 4 年度「業務改善助成金（通常コース）」について（情報提供）
- 令和 4 年度「日本医師会生涯教育講座」第 1 期（6 月）の開催について
- 令和 4 年度における「データ提出加算」の取扱いについて
- 令和 4 年度医療機関向け救急通訳サービスの実施について
- 令和 4 年度第 1 回マンモグラフィ技術講習会の開催について
- 「重篤副作用疾患別対応マニュアル」の紹介動画のホームページ掲載について
- 「東京都医師会・東京都福祉保健局共催海外渡航者や外国人患者を診療するための医療機関向け研修会」の周知について
- オンライン請求の接続がしづらい事象が発生した件について
- かかりつけ医向け認知症高齢者の運転免許更新に関する診断書作成の手引き改定版について
- マスクの着用の考え方及び就学前児の取扱いについて
- 新型コロナウイルスワクチンの 4 回目接種に関する要望について
- 令和 4 年度東京都外国人患者受入れ体制整備支援事業の実施について
- 厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その 9）」の送付について
- 『オンライン検査サービスに伴う景品類に関する運用基準』についての御理解と御協力をお願い
- 厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その 12）」の送付について
- 新型コロナウイルス感染症の罹患後症状に係る労災請求についての周知依頼等について
- 第 26 回参議院議員通常選挙における特定患者等の特例郵便等投票の円滑な実施の要請について
- 第 86 回（令和 4 年度・第 1 回）准看護師卒後教育講習会の開催について
- 認知機能検査等の受検義務の免除に関する診断書その他の書類の基準等について
- 熱中症予防の普及啓発・注意喚起について
- 令和 4 年度 第 1 回検案業務サポート研修会の開催について（多摩地域の登録検案医確保及び検案業務サポート事業）
- 令和 4 年度労災診療費算定基準・地方公務員災害補償制度・自賠責保険診療費算定基準の説明会の開催について
- 労働安全衛生規則の一部を改正する省令の施行について

医師会の動き

	令和4年6月20日現在		
医療機関数	190	病院	28
		医院・診療所	162
会員数	504	正会員	206
		準会員	298

会議

5月10日	定例理事会
20日	経理部会・監査会
24日	定例理事会
6月9日	第1回西多摩地域糖尿病医療連携 検討会
14日	定例理事会
21日	西多摩医師会定時社員総会
22日	広報部会（会報編集）
28日	第1回西多摩地域脳卒中医療連携 検討会
28日	定例理事会

講演会・その他

5月9日	保険整備会
12日	法律相談
17日	学術Web講演会 『第30回 西多摩呼吸器懇話会』 【テーマ：肺癌】 《講演》 (1) レクチャーセッション 演題：「胸部画像診断のポイント①」 演者：青梅市立総合病院 呼吸器 内科 医長 日下 祐 先生 演題：「胸部画像診断のポイント②」 演者：青梅市立総合病院 呼吸器 内科 専攻医 村上 匠 先生 (2) 特別講演 演題：「肺癌の診断～肺癌を見逃 さないためのポイント～」 演者：東京医科大学八王子医療セ ンター 臨床腫瘍科 教授 青木 琢也 先生
19日	第17回青梅CKD勉強会 《講演》 演題：「当院での病診連携の取り 組み」 演者：青梅市立総合病院 腎臓内

	科 副部長 松川 加代子 先生 演題：「当院での腎代替療法選択 の試みとCKMの経験」 演者：公立福生病院 腎臓病総合 医療センター 部長 中林 巖 先生
6月2日	学術Web講演会 《講演》 演題：「糖尿病合併CKDの治療 戦略と腎性貧血」 演者：三浦中央医院 院長 瀧端 正博 先生
9日	保険整備会
9日	法律相談
16日	学術Web演会 《講演》 演題：「心原性脳塞栓症に挑む ～抗凝固療法の問題と展望～」 演者：自治医科大学 内科学講座 神経内科学部門 主任教授 藤本 茂 先生
24日	にしたまネットWeb講習会 ～にしたまICT医療ネットワー クシステムについて～
29日	学術Web講演会 『重症喘息診療医療連携の会 in 西多摩』 《テーマ》気管支喘息・COPD Session 1 《講演》 演題：「重症喘息治療のUp To Date」 演者：東邦大学医療センター 大橋病院 呼吸器内科 教授 ・同院内感染対策室長 同院院長 補佐 松瀬 厚人 先生 Session 2 《Discussion》 演題：「日常診療で難渋する喘息 患者について」 司会：野本医院 院長 野本 正嗣 先生 パネラー：松原内科医院 院長 松原 弘明 先生 パネラー：青梅市立総合病院 呼

30日 吸器内科 医長 伊藤 達哉 先生
 パネラー：青梅市立総合病院 呼
 吸器内科 医員 大友 悠太郎 先生
 第4回青梅骨粗鬆症ネットワーク
 勉強会

《オープニング》

演題：「青梅市における骨密度検
 査の現状と課題」

演者：青梅市立総合病院 院長補
 佐 整形外科部長 加藤 剛 先生

《特別講演》

演題：「骨修飾薬投与と顎骨壊死
 予防：医科歯科連携を通して」

演者：東京医科歯科大学大学院
 高齢者歯科学分野

准教授 久保田 一政 先生

30日 学術Web講演会

『DiaMond Seminar in 西多摩』

《講演》

講演 ①

演題：「Standards of Medical Care
 のアルゴリズムからはじめる新し
 い治療戦略～

ミトコンドリアへの作用を期待し
 た新しい治療薬を含め」

演者：たけおクリニック 院長
 竹尾 浩紀 先生

講演 ②

演題：「糖尿病治療における早期
 治療の重要性について」

演者：東京医科大学八王子医療セ
 ンター 糖尿病・内分泌・代謝内
 科科長/講師 松下 隆哉 先生

役員出張

5月20日 第2回地区医師会感染症担当理事
 連絡会

20日 地区医師会長連絡協議会

6月17日 地区医師会長連絡協議会

22日 第3回地区医師会感染症担当理事
 連絡会

23日 東京都医師会第298回定時代議
 員会

【入会会員】(正会員)

氏名 伊藤 尚真(準会員→正会員)

勤務先 (医社)和風会

多摩リハビリテーション病院

出身校大学 杏林大学 平成6年3月卒

氏名 赤松 智孝

勤務先 (医社)純正会 青梅東部病院

出身校大学 東京医科大学 昭和64年3月卒

氏名 根東 義明

勤務先 公立阿伎留医療センター

出身校大学 東北大学 昭和56年3月卒

氏名 陶守 敬二郎

勤務先 (医社)真愛会 介護老人保健施設

あかしあの里

出身校大学 東京医科歯科大学

昭和57年3月卒

氏名 三井 理華

勤務先 (医社)三清会

青梅かすみ台クリニック

出身校大学 東京女子医科大学

平成23年3月卒

【退会会員】(正会員)

氏名 山本 修

勤務先 (医社)山本メンタルクリニック

氏名 神保 雅美

勤務先 (医社)純正会 青梅東部病院

氏名 近藤 和雄

勤務先 (医社)真愛会 介護老人保健施設

あかしあの里

氏名 田邊 秀聡

勤務先 (医社)恵心会 田村皮フ科

【入会会員】(準会員)

氏名 郡 悠介

勤務先 青梅市立総合病院

出身校大学 東邦大学 平成25年3月卒

氏名 鈴木 永里衣
勤務先 公立福生病院
出身校大学 杏林大学 令和4年3月卒

氏名 青木 央
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 日本大学 平成30年3月卒

氏名 小笠原 渚
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 浜松医科大学 平成31年3月卒

氏名 鈴木 佑奈
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 日本大学 平成28年3月卒

氏名 山崎 歩実
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 新潟大学 平成31年3月卒

氏名 桐ヶ谷 泉
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 慶應義塾大学 令和4年3月卒

氏名 笠原 恵那
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 秋田大学 令和4年3月卒

氏名 信夫 萌花
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 弘前大学 令和4年3月卒

氏名 古味 良亮
勤務先 こみ内科クリニック
出身校大学 岩手医科大学 平成26年3月卒

【退会会員】(準会員)

氏名 竹島 薫
勤務先 公立福生病院

氏名 笹本 隆夫
勤務先 (医社) 厚心会 笹本医院

氏名 益子 茂
勤務先 (医財) 良心会 青梅成木台病院

氏名 鎌迫 陽
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 駒橋 充
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 堀越 友美
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 檜崎 緑
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 片山 直之
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 岡部 龍太
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 武石 彩
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 渋谷 真史
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 安倍 恵太
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 一川 良太
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 和田 将栄
勤務先 (医社) 崎陽会 日の出ヶ丘病院

【開設者(企業長)・管理者変更】

公立阿伎留医療センター

(新) 根東 義明

(旧) 荒川 泰行

【管理者変更】

(医社) 和風会 多摩リハビリテーション病院

(新) 伊藤 尚真

(旧) 田口 弘之

公立福生病院

(新) 吉田 英彰

(旧) 松山 健

(医社) 純正会 青梅東部病院

(新) 赤松 智孝

(旧) 神保 雅美

(医社) 真愛会 介護老人保健施設

あかしあの里

(新) 陶守 敬二郎

(旧) 近藤 和雄

【会員種別変更】

氏名 田口 弘之

勤務先 (医社) 和風会

多摩リハビリテーション病院

(新) 準会員

(旧) 正会員

氏名 荒川 泰行

勤務先 公立阿伎留医療センター

(新) 準会員

(旧) 正会員

【法人化・名称開設者変更】

(新) (医社) 日の出 さくやま眼科

理事長 柞山 健一

(旧) さくやま眼科 柞山 健一

【名称・所在地変更】

(新) (医社) 久遠会 みずほ病院

(旧) (医社) 久遠会 高沢病院

(新) 瑞穂町箱根ヶ崎535-5

(旧) 瑞穂町二本木722-1

【廃業】

(医社) 恵心会 田村皮フ科

訃報

元 (医社) 三ツ葉葵会 西東京病院

院長 中林 敬一 先生 (91歳)

去る令和4年6月1日 逝去されました。
謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。

事務局よりお知らせ

保険請求書類提出締切日

令和4年8月(7月診療分) **8月8日(月)** 正午迄

令和4年9月(8月診療分) **9月8日(木)** 正午迄

(締切日以前の提出も可能です)

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 堀 克己先生による法律相談を
毎月**第2木曜日 午後2時**より実施いたします。

お気軽にご相談ください。(本年4月より第2木曜日に変更)

◎相談日 **7月14日(木)**
9月15日(木) (9月は第3木曜日となります)

◎場所 西多摩医師会館
◎内容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・
刑事に関するどのようなものでも結構です。

◎相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)
◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。

(注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

表紙のことば



『羽村の夕焼け』

我が人生の夕暮れもかく也
と願いつつ!!

松原貞一

あとがき

コロナウイルスもようやく沈静化してきたように思います。出かけると、店舗や飲食店は以前のように人出が戻ってきつつあるように感じます。ただ違うのは、みんなマスクをしているという点でしょうか。

ただ、ここで、また世界に大きな影響を及ぼす出来事が起こりました。2022年2月24日にロシアがウクライナに侵攻を始めたのです。この21世紀に、こんなことが起こっていいのかという思いでした。とくに強く記憶に残っているのは、テレビのニュースで、ポーランドに逃げてきた小さな男の子が、母親に抱かれながら言った「僕のお父さんはまだウクライナにいる。ロシアと戦うために残っている。お父さんのことが心配だ。」と半ば泣きそうになりながら答えていた映像でした。毎日放送される、たくさん死者と、住むところを破壊され、食べ物も水も電気もないところで避難生活を送っているたくさんのウクライナの人たちの姿、これを見ると、本当に気の毒で、何とかしてあげられないのかと思ってしまう。

しかし一方で、ウクライナのことを他人事のように考えていいのかという思いもあります。日本はどうなのかなと。ある国が戦争を起こしやすくなる条件として3つがあるとされています。一つ目は相手よりも強

力な軍事力を持っていること、二つ目は相手に強固な同盟国がないこと、3つ目はそのある国が非民主国家であることです。これらをウクライナに当てはめるとまさにぴったりだと思います。さて日本はと見てみると、まさに中国と北朝鮮は1番目と3番目の条件はぴったりです。2番目も、日米安保条約はありますが、いざというときに、どの程度アメリカが自国の若者の命を犠牲にしてまで日本を助けてくれるのか、不安なところがあります。私も若いころは、「戦争はよくない。軍事力はなくしていくほうがいい。」と単純に考えていたのですが、ウクライナの現実を前にすると、それでいいのかと考えてしまいます。我々にできるのは、一つ目と二つ目の条件を、できるだけ戦争が起こりにくくなるようにするしかないのかなと思うのです。

そしてロシアのウクライナ侵攻は経済的な面で直接我々の生活に大きな影響を及ぼしてきています。石油をはじめとして物価が上がリ、特に世界的な食糧不足がこれから始まりそうな状況です。食糧自給率の低い我が国のことを考えると、「あー、なんでこれまでしっかり準備をしてこなかったんだろう」と、これまた反省してしまうこの頃です。そういえば、歯科の治療に使う金属の値段が高騰し、保険診療では赤字になってしまうという不測の事態も起こっていました。医療の分野にもまた様々な影響が生じてきそうです。

コロナとウクライナという二つの大きな出来事に翻弄されながらも、何とか良い方向へ変わっていきけるように、日々少しずつできることをやっていくしかないと思っています。

令和4年6月16日

三ツ汐 洋

一般社団法人 西多摩医師会

令和4年7月1日発行

会長 玉木一弘 〒198-0042 東京都青梅市東青梅1-167-12 TEL 0428 (23) 2171・FAX 0428 (24) 1615

会報編集委員会 古川 朋靖

下村 智 土田 大介 鹿兒島武志 進藤 幸雄 奥村 充

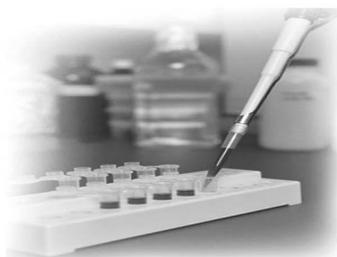
近藤 之暢 菊池 孝 三ツ汐 洋 馬場 一徳 小高 哲郎

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428 (22) 3047・FAX 0428 (22) 9993

生命の輝きをみつめ

“いつの時代も、地域医療とともに”

ひとりひとりの健康で豊かな社会生活を掲げ
地域に根ざした検査所として歩んできました。
高度な技術と最新の設備で地域医療の
さまざまなニーズに対応しています。



登録衛生検査所

株式会社 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢 309-8

TEL ; 04-2964-2621 FAX ; 04-2964-6659

URL ; <http://www.e-musashi.co.jp>

国民の健康と医療の向上をめざす

東京保険医協会

医師会と保険医協会はくるまの両輪です。
医師会の会員の皆様にも保険医協会への入会をおすすめします。

資料請求は
こちらまで!



元西多摩医師会会長 松原 貞一

元西多摩医師会会長 真鍋 勉

減点や返戻等の保険請求対策、年金や休業保障等の多彩な共済制度で
保険医協会はこれからも先生方をサポートして参ります。

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-7 KDX新宿ビル4F TEL:03-5339-3601
FAX:03-5339-3449 E-mail:info@hokeni.org <http://www.hokeni.org/>

東京保険医協会 検索